SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　ＳＤＧｓ未来都市・志摩市　資料No.１

NEWS(PRESS) RELEASE

令和３年１０月２８日
志摩市消防本部　消防総務課

タ　イ　ト　ル	志摩市消防本部 令和３年度消防防災科学技術賞を受賞！！
概　要	消防防災科学技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的とする消防防災機器等の開発・改良に「廃棄ホースを有効活用したロープ保護資器材の開発」として応募したところ、消防本部職員３名が、奨励賞を受賞しました。 **【消防防災科学技術賞の概要】**　※消防庁 HP に掲載あり。 消防庁消防研究センターから例年消防防災科学技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的とし、消防職員・団員の部及び一般の部から３つの区分（①消防防災機器等の開発・改良、②消防防災科学論文、③消防職員における火災原因調査事例）作品の募集を行っています。 本表彰制度は、消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学に関する論文及び原因調査に関する事例報告の分野において、優れた業績を挙げた個人又は団体を消防庁長官が表彰する制度であり、平成９年（自治体消防５０周年）にスタートし、本年で２５年を迎えます。 **【消防防災科学技術賞受賞に係る経緯】** 当消防本部からは、今年度、消防職員・団員の部から「①消防防災機器等の開発・改良区分」の作品を、消防長の審査を経て応募し、厳正な審査の結果、奨励賞を受賞しました。 令和３年度においては、消防職員・団員の部及び一般の部から８７作品が全国から応募され、優秀賞２３作品、奨励賞３作品（受賞数計２６作品）が選ばれました。 当該表彰における消防職員としての受賞は、過去２５年間のうち三重県内で初の受賞です。 ・受賞者： 消防総務課　消防司令補　阪口雅浩(サカグチ　マサヒロ)　３７歳 大王分署　消防士長　脇海道剛(ワキカイドウ　ツヨシ)　３２歳 志摩分署　消防士長　中村貞則(ナカムラ　サダノリ)　３２歳 **【内容「廃棄ホースを有効活用したロープ保護資器材の開発」】** 救助活動において、ロープを使用する際に、これまで支持点を毛布等で保護しており、作業に時間がかかることや食い込みによる安全確認等が課題となっていたところであり、今回の開発に伴い、作業時間の短縮、安全性が向上したことや、コンパクトになったことから、救助活動全体の安全、確実、迅速性が格段に向上したことが評価されたものです。

	※廃棄ホースを利用した提案により、SDGs の目標 12「つくる責任つかう責任」の達成を目指す取組ができました。
実施時期	表彰式 ⑴　日時：令和３年１１月２５日（木） ⑵　場所：消防庁消防大学校講堂　　（東京都調布市） ⑶　内容：表彰式（消防庁長官表彰）、 同日開催される全国消防技術者会議での作品発表
お問合せ先	志摩市消防本部　消防総務課　　担当　松井 TEL　0599-43-2405　　FAX　0599-43-1423 e-mail　syoubousoumu119@city.shima.lg.jp